



# 大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」  
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和3年学年集会号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
電話 3762-6456

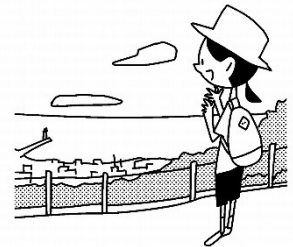
## 各学年集会によせて

### 【学年集会（1年）】

皆さんは1年前、小学生でしたが、中学生になって約9ヶ月、中学校の生活には慣れましたか。定期考査があって学習が難しくなったり、部活動があって身体を動かしたり、放課後に塾へ行くようになっていたり、様々に生活が多忙になったと思います。多忙の「忙」は、心をなくす…自分を見失ってしまうことにつながり、事故などに結びつくこととなります。そこで大事な点は、しっかり計画を立てること、無理な計画は減らす又はやめること、体調管理のためしっかり睡眠をとることです。規則正しい生活、無駄な時間をできるだけなくすこと、1年生の頃から地道に勉強することが重要になってきます。

中学生になることは、将来の社会での自分を見据えて、今何をすべきかを考えていけるようになることです。今たくさんさぼってしまえば、後々で大変なことになる…少し考えればわかるはず。その意味において、強い人になってください。自分をしっかり見つめ、謙虚になれる人が強い人です。そういう人をめざして頑張ってください。

2月には移動教室があります。全員で協力して立派な行事にしてください。学校行事ですから楽しんで構いませんが、遊びではありません。何を学ぶかが大事です。行事はその学年の力がわかります。安全に生活して無事故で当日を迎えましょう（12月23日）。



### 【学年集会（2年）】

中堅学年として、大森二中を先導してくれて、いつも感謝しています。1年生の頃から成長した皆さんの姿は、後輩のお手本になるものだと思います。

ただ、中学校生活はここからが大事です。1年後の自分が想像できる人は、この中にどれくらいいるのでしょうか。3年生と面接練習を行っていますが、大半の人が「もう少し早く勉強にとりかかれば良かった」と反省の弁を述べています。当然、来年は受験に臨むわけです。わかりきったことですから、早めに準備をすることはとても大事なことになります。3年になってからでは遅い、と捉えて、この冬休みからでも今までの復習に取り組めると、来年の選択肢が広がる可能性が出てくると思います。

人生の方程式は単純です。今日という日は2度と戻らない。ただ月日は過ぎる

だけ。極端に言えば、生まれた時点から老いに死に向かっているのが人生です。将来のことを真剣に考えるなら、今を充実させなければいけません。「いつかは」とか、「明日になったら」とか、それは言い訳です。決意した瞬間から行動が始まります。どうか皆さんは、将来の自分を見据えて、少しでも自分の弱さと向き合えるような一人一人になってください。

1月には鎌倉への社会科見学もあります。全員で協力して立派な行事にしてください。学校行事ですから遊びではありません。何を学ぶかが大事です。安全に生活して無事故で当日を迎えましょう（12月23日）。

### 【学年集会（3年）】

もうすぐ年が明けると、皆さんは受験が目の前に迫ってくることとなります。その意味では、この年末年始は心が落ち着かない、今までと違う正月を迎えることでしょう。でも現実には現実です。その現実を踏まえた上で、少々厳しいことを今日は皆さんにお話したいと思います。

できれば皆さん全員が第一志望の学校に合格するのが理想的ですが、そう現実には甘くありません。だからこそ、高校で何をどう頑張るかを今から真剣に考えることがとても大事です。どの高校に入っても、そこが明確でなければ、生き方に差が出てしまいます。たとえ不合格であっても、その先の人生まで決まるわけではない。受験のための勉強は、あくまで受験に合格するための勉強であって、生きていくために必要な勉強は、これからどんな場所であっても学び続けることができます。もっといえば、どこに入ったかが目的ではなく、高校で何を勉強するかが目的にならないといけないということです。もちろん全力で勉強することは大事です。でもそこで力を使い果たしてしまうのではなく、次の想定をしながら入学後の準備を怠らないことが、これからの人生を充実させる上でとても大事なことです。

人生は100年時代に入りました。皆さんの人生はまだまだこれからです。ただ、世界的な課題が山積しているのも事実です。温暖化の問題、それに関連した異常気象の問題、経済格差の問題、ゴミ問題や環境問題、貧困や飢餓の問題、人権が尊重されていない課題等々、人類的な視野で考えていかなければならないことがたくさんあります。その前では、自分一人のことなど、小さな悩みでしかない。でも現実として自分の悩みと真正面から立ち向かうことも必要です。そのバランスが問われているのが現在の社会だということを認識してほしいと思います。

受験はその取り組み方で、その人の人間性が出ます。自分のことしか頭にない心の小さな人なのか。みんなを励まし支え合って、全員の力で受験を乗り越えようとする心の大きな人なのか。私は皆さんのこれからの人生を考えた時、ぜひ後者であってほしい。3年生158人全員の力で受験という波を乗り越え、次のステップに羽ばたいてください。勝って兜の緒を締め、負けるが勝ち、という言葉もあります。全力で卒業式まで頑張ろう（12月23日）。

